

「社団法人 日本口腔インプラント学会認定施設」

東京形成歯科研究会 &インプラント国際情報

H. 20. 7. 1 (TUE)
No. 4

原稿募集中

発行

編集 東京形成歯科研究会
企画 オクデラメディカル
発行者 奥 寺 元

東京都北区王子 2-26-2-3F
TEL 03 (3919) 5111
FAX 03 (3919) 5114
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp
http://www.oji-shika.jp/pc/



第 94 回日本美容外科学会

再生医療のシンポジウムに入り、名古屋大学の口腔外科スタッフが GBR の骨再生を PRP を含めて話されたが、GBR で非常に硬い骨を作ったと強調

された。この会には歯科界から新たな取り組みとして、私どもの技術が美容外科分野に大きく影響する立場を強調するために過去 5、6 年参加し、立場を主張してきた。

そのおかげで、日本美容外科学会の重鎮から参加の折に逆に挨拶を頂いた。特に世界的著名な高須 克弥先生自ら奥様共々ご挨拶を頂いたには大変恐縮致しました。

学会はお台場のファッショナブルなホテルで開催され、華やかな美容外科界にはピッタリの会場であった。美容機器関係社の展示がところ狭く出展し、売り込みに社を挙げての奮闘振りには歯科界との華やかさの違いが感じられた。特に韓国の会社の出展が目立った。



第 94 回日本美容外科学会が 5 月 11 日(日) 会場ホテルグランバシフィック メリディアンで開催

また、美容界ではテレビにおいて PRP の報道の際、出演者は歯科領域で盛んに行なわれていることを紹介した。これは私の事で、私が美容外科雑誌に何度か PRP の事を投稿した効果が表れたことと嬉しく思った。

また、美容界ではテレビにおいて PRP の報道の際、出演者は歯科領域で盛んに行なわれていることを紹介した。これは私の事で、私が美容外科雑誌に何度か PRP の事を投稿した効果が表れたことと嬉しく思った。



懇親会場



華やかな Live



高須 克弥 先生

開業レベルでも情報を適格にとらえてなければ、ただ話題を取りたい一身分業と組んで、商業ベースで、まだ未開なものの商品化したと言い、インプラント学会で注文をとるような行為は歯科全体に影響を及ぼすので気をつけなければならないと思う。

高須先生は「歯科界を打開・発展させることには、親知らずの歯で明日にも歯ができることを大々的に歯科商業誌やマスコミが動いてアピールが未だできず、研究も頓挫したと言っているところがある。問題は、その波及で、講演を聞いた歯科技工界の世界的重鎮で現在歯科技工教育に情熱を注いでいる桑田 正博先生が、僕の前に来て「歯科技工の仕事はなくなるのか」と、聞いたのだと驚きました。そのような立場の方がそのような解釈をしていることに驚きましたが、すかさず「疫学的観点からも臨床の主流にならず、また親知らずの歯を移植してもそこに出来るのは親知らずで、歯冠形成をして歯冠を作るのは技工の仕事ですよ」と話しました。「それを聞いて安心した」と安堵の様子でした。ただささる歯科技工界は厳しいのに、夢を失う現実味の無いアピールは問題ではないでしょうか。

私のこの指摘ははなはだ問題がありませんが、あえて優秀な日本の科学技術の進歩を阻止させてはならない危惧からの発言です。もつと基礎学に開眼することが必要でそのような素養があれば、そんなに振り回されないのではないのでしょうか。最後に、この美容学会は比較的オープンですので私も大いにエンタリーをして、私どもの領域を確固たるものにしたと思います。私どもの先人小嶋 榮一先生はすでに第 1 回日本美容学会大会には発表しており、先人が良い道程を作ってくれているので、それを継承することも大切ではないでしょうか。これらの行動が歯科界を打開・発展させることとなります。

以前、親知らずの歯で明日にも歯ができることを大々的に歯科商業誌やマスコミが動いてアピールが未だできず、研究も頓挫したと言っているところがある。問題は、その波及で、講演を聞いた歯科技工界の世界的重鎮で現在歯科技工教育に情熱を注いでいる桑田 正博先生が、僕の前に来て「歯科技工の仕事はなくなるのか」と、聞いたのだと驚きました。そのような立場の方がそのような解釈をしていることに驚きましたが、すかさず「疫学的観点からも臨床の主流にならず、また親知らずの歯を移植してもそこに出来るのは親知らずで、歯冠形成をして歯冠を作るのは技工の仕事ですよ」と話しました。「それを聞いて安心した」と安堵の様子でした。ただささる歯科技工界は厳しいのに、夢を失う現実味の無いアピールは問題ではないでしょうか。

コラム

最近、公的な立場がある人が色々と言っている。広告塔に利用される事がある。一つの世も医学は強力なマインドコントロールで、科学的見地を失う行為は慎まなければならない事が鉄則であるが、それを覆す広告や商業誌、はたまたジャーナリズムにかけた報道関係者は多々目に付き、そして問題が生じている。ベテランの先生も若い先生もこのように事に翻弄されなく、科学的認識を高め、基本的倫理観が歯科界全体に必要なではないか。

インプラント先端技術と言われる内容は自ら研究を行い、自信をつけることが、収入増の経営セミナーを含む講演会に翻弄されず、前進出来るのでは……。

インプラント界は大変抗争が多く、あまりにも目に余る状況が続いた。昨今、インプラント学会もようやく落ち着いてきたように思える。しかし、新たな火種が付き抗争が生まれている。日本の各種学会は学問の複雑さから、分科会の専門分野が存在するが、方向性を持たないある大きい組織は、混迷模索が始まって多方向性に迷惑をかけている。かつて方向性を模索中に名称の変更を行い、口腔衛生学会から改名を求められた経緯がある。全く関係ない専門分野に利権を求めて、暴力的な介入をしてきた。M&A のような敵対的介入は社会でも問題となったように日本に馴染まない学術の場には必要ないこととて、このような権力を使うのならば、もつと基礎的学問・研究を行うべきではないか。

一番損害を受けるのが一般会員であり、患者ではないだろうか。

東京形成歯科研究会の実験に参加して

東京形成歯科研究会会員 群馬県開業 関口 剛



私は、大学卒業後すぐに開業医へ勤務したため、研究や動物実験には全く縁が無く、実のところ、研究内容よりも研究の進め方に強く興味を持っていました。

実験当日は、準備の時点で見たことの無い道具が出て来て、手順も良く分からない状態でした。しかし、犬相手でも、セデーションを行い、チタンフレームと補填材を埋め込むまでの手術を目の前で見られたことは非常に有意義な経験となりました。チタンフレームとアパタイト、自家骨、BMP、PRP、フッ素の組み合わせでの骨造成が、どの程度違いがあるか結果が楽しみです。チタンメッシュやメンブレンを使うより、オーダーメイドのチタンフレームは造成骨の形をコントロール

し易そうに見えました。

骨膜下インプラントにテックをつけて、骨が出来たらルートフォームを追加出来れば骨が無いケースでも審美回復が直ぐに出来て良いな、などと想像します。骨膜下インプラントの可能性を感じました。

北村先生のハサミの使い方など道具の使い方の説明も実演付きで、普段他のDの仕事をverる機会が無い私にとっては、貴重な体験です。

Dr. ノードクイスト夫妻も途中から参加してインターナショナルな研究活動になっていることや、研究に参加している学生もいることなど、カルチャーショック?を受けました。

今まで持っていた歯科医師像がどこかへ飛んで行った気分で、機会があれば、また参加させていただきます。

せてもらえたら良いと思います。

開業医でありながら、インプラント治療法を発展させるために研究、教育活動を行う奥寺先生親子、また関係者の方々の医療人としての生き方に素晴らしいものを感じました。

先日の仮骨延術のオペ見学でも、オペ室の充実ぶりに「こういうことなのか。」と見て初めて感じたことがあり、実際を見せて頂ける機会は経験の少ない者には、本当にありがたいことです。サイナスリフトのオペ見学にも参加したかったのですが、自院を休診に出来ず不参加になりました。出来ましたら、木曜日が週の中休みの医院も多く、オペ見学をさせて頂ける曜日が木曜だと参加できる先生が増えるのではないのでしょうか。

これからも、宜しくご指導下さい。

東京形成歯科研究会認定講習会を終えて

東京形成歯科研究会会員 田中 かずさ



「1Fにセミナーの看板と講師の先生のお水をお願いします。」王子歯科美容外科クリニックで行われる認定講習会会場に着くと事務の佐野さんにそう頼まれて、私の講習会が始まります。

1年間、講師の先生方の講義を聞き、どれもこれから歯科医師としてやっていく中、大切な事ばかりでした。中でも印象深かったのは、12月に神奈川歯科大学で行われた解剖実習です。解剖実習を終えて一番感じたことは、「学生時代、もっとやっておけばよかったなあ」というのが正直なところ

です。学生時代の実習では初めての体験でしたので戸惑い(私、女子です)で恐怖感、それに意外とナイーブで実習の間最後までお昼ご飯は食べられず、言われた事をこなすのが精一杯でした。しかし、臨

床に出てみると解剖の大切さが身にしみました。ですので今回の実習では、食欲に長崎先生をはじめ、色々な先生の近くに行っでは見せてもらい、触らせてもらい、神奈川歯科大学の解剖教室の先生にも色々質問をさせて頂きました。本当に貴重な体験でした。

その日は同時に卵の殻でサイナスリフトの疑似練習もあり、お隣に座らせて頂いた柳先生と薄皮を破かないように塩を詰めた事を思い出します。また、同じ班だった田先生や相澤先生にも色々教えて頂きました。

その前夜には東京形成歯科研究会の忘年会があり、我々が長老の小嶋先生に日本酒を注ぎに行き、同じテーブルの西山先生と酌み交わしました。もちろん、ただビールを飲んでいた訳じゃありませんよーインプラントについての濃い話もしました。また、私が正月休みにインド旅行を予定し

シンポジウム

「口腔疾患としての顎骨におけるアτροφイーを考える」併設市民講座「美しい顔とは」代官山美容外科 周 哲男 先生 俳 優 宝田明 先生

日時：2009年2月15日(日) 場所：神奈川歯科大学横浜研修センター

顎骨のアτροφイーは顎独特の現象で、他の体幹骨には見られない極めて特殊な状況で、その影響は計り知れない。従来型の義歯やブリッジではその部位においては、顎に現状維持を求めるには限界がある。

そこで、今回あまり触れられていないこの現象を各方面からメスを入れて、現状把握を行い問題解決を探るシンポジウムを企画致しました。

このテーマに関与する基礎系研究者はもちろんの事、歯周病学・補綴学・顎顔面外科学・インプラント学・美容外科学に携わる先生方は今後の顎顔面領域に係わる患者のQOLからも重要なテーマとなりえますので、多数ご参加願います。

私共の顎を主体とする領域は、美容形成外科領域と密接な関係であり、今後この分野での連携は不可欠です。その分野の第一人者でおられます周哲男先生をお招きして市民啓発を行い、口腔領域の重要性を訴えます。

予定講演者：

予防歯科学疫学研究者の立場から	口腔保健学分野	木本 一成
形態学関係者の立場から	人体構造学分野教授	高橋 常男
顎骨と骨粗鬆症研究者の立場から	顎顔面診断科学分野教授	鹿島 勇
美容外科学の立場から	国際美容外科学会名誉会長	周 哲男
顎顔面外科学の立場から	顎顔面外科学分野教授	久保田英朗
口腔インプラントの立場から	王子歯科美容外科クリニック	奥寺 元

主催：神奈川歯科大学 人体構造学分野口腔解剖学講座
プロジェクト研究アンチエイジング班
社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会

後援：オクデラメディカルインスティテュート

2008年度

社団法人日本口腔インプラント学会
認定講習会

～ 多彩な講師陣と施設指導医による親身な指導 ～

主催：社団法人日本口腔インプラント学会認定施設 東京形成歯科研究会会長、ICOI会長：奥寺 元

＜ 講義と実習内容 ＞

東京形成歯科研究会は創立25周年を迎え、インプラント学を主体に先端学問の追求を行っております。長い歴史の中で口腔インプラント学会への研究発表が多く、その業績は歯科医学の発展に一石を投じており、その研究の中から多彩な人脈や国際的交流を取ることができました。その実績と共に社団法人日本口腔インプラント学会認定医研修コースを企画しております。一味違う内容により、実力はもとより、各方面の情報と人脈を構築できます。参加することにより今までの環境を脱却し、真のインプラントジストを目指して下さい。御参加をお待ちしております。

開催場所

定員

参加費

オクデラインプラントセンター(王子歯科内)

20名

80万円 <分割可>

予定講師

※ 奥寺 元

前東京医科歯科大学臨床助教授
神奈川歯科大学客員教授

※ 五十嵐 俊 男

(社)日本歯科先端技術研究所 関東甲信地区会長

※ 小嶋 榮 一

元日本口腔インプラント学会
関東甲信越支部長

春日井 昇 平

東京医科歯科大学教授

※ 星野 清 興

ユニバーサル研究所所長

安部井 寿 人

日本顎頭蓋機能学会理事

和泉 雄 一

東京医科歯科大学教授

※ 梨本 正 憲

臨床総合センター所長

鹿島 勇

神奈川歯科大学教授

田口 明

広島大学准教授・神奈川歯科大学客員教授

今井 裕

獨協医科大学教授

※ 市川 哲 雄

徳島大学教授

※ 高橋 常 男

神奈川歯科大学教授

※ 木本 一 成

神奈川歯科大学准教授

他、有名外人講師

※は社団法人日本口腔インプラント学会の指導医です。

最先端技術を応用した拡大するインプラント治療について。基礎と臨床

インプラントを用いた経営戦略

インプラント概論とその歴史

Custom Endosteal Implant・温故知新の実技

インプラントと薬物応用・顎骨再生学

インプラント臨床実技と外科実技

オクルージョン治療法

歯周とインプラント歯周病の発生メカニズム

インプラント臨床の実技

骨構造の評価と放射的治療

顎骨内X-Ray診断学

口腔外科基本的歯技

インプラント補綴学、顔面構造に係る補綴

臨床解剖学講義と実技

生理的影響、論文の書き方・統計学をどう読むか

○東京形成歯科研究会では会員を募集しております。入会しますとICOI会員となり、ICOI国際インプラント学会の認定医の取得が可能です。

○当研究会指導医3名(小嶋 榮一・奥寺 元・高橋 常男)

○当研究会認定医13名(飯岡 昌寿・朝日 啓司・飯田 淳一・井堀 秀久・木村 博光・古谷田 泰夫・原田 庸平・富木 富士雄・中島 素樹・李 徳隆・柳 時悦・堀谷 和則・島村 敏明)

2008年

2009年

1. 4月20日(日)

4. 7月27日(日)

7. 10月19日(日)

11. 2月15日(日)

2. 5月18日(日)

5. 8月31日(日)

8. 11月23日(日)

12. 3月15日(日)

3. 6月22日(日)

6. 9月21日(日)

9. 12月20日(土)

10. 12月21日(日)

【東京形成歯科研究会認定医研修コース事務局】

王子歯科美容外科クリニック内 担当：奥寺

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2-3F TEL:03-3919-5111 FAX:03-3919-5114

E-mail:okudera@carrot.ocn.ne.jp [URL]www.ojidental.gr.jp

＜ 取り取り書 ＞

認定医研修コース 申し込み書 (継続者も含む)

お名前

所属

紹介者

〒

TEL

住所

FAX

(2)

ある師との文信文 ― 恩師の姿 ―

●大変面白い実験が繰り返されているように、私まで実験室にいるような思いがします。興味深い実験です。

結晶生成は、pH依存性であり、瞬間的にも多様な結晶が発生してくるようですが、とくに高濃度フッ化物で顕著なようです。先生の観ている結晶も、高濃度フッ化物応用の生成物のように思えます。

実は、発想を全く変えて、極めて低濃度のFを作用させてみてはどうでしょうか。

Forsyth 研究所もマルゴリス Margolis（私の共同研究者であった Moreno の後任）は、1ppmぐらいのフッ化物応用の結晶性の有効性を発表していると思います。

私も、Forsyth にいる頃、高濃度フッ化物の作用を嫌っていました。その理論的解釈に反発していました。

一人で、実験室で80ppmぐらいまでは、FAPがよく生成されることを追求していました。とうとう論文にせずしにまいりましたが、いまでも低濃度Fの作用に期待しています。

思い切って、1ppmとか、時間依存性をみたり、pH依存性をみたり、体液の有機成分、血液とか、アルブミンとかの共存下での結晶性の観察はどうだろうか。

ちよつと無責任な発想のようにも思います……。

●来年の沖縄インプラント学会楽しみです。○○先生の研究は、毎回ワクワクで感動しています。彼の考察も深くなつてきて、頼もしいです。私現役で実験室にいるような気分になり、大変感謝しています。いつも研究の夢をみています。

ところで、ペリクルですが、ペリクルとは小さい皮ということで小皮のことです。ですから、生体にはいろいろな

ペリクルがあります。エナメル質のペリクルは唾液由来の獲得性の薄膜のことで、salivary acquired pellicle と呼ばれています。アミノ酸が繋がったペプタイドです。スタッセルリンという物質も同定されています。アミノ酸のプロリンが多いペプタイドもよく知られています。

ところで、最近のことですが、どうも牛乳や母乳のラクトフェリンが口腔組織で治癒過程に相当に参与しているというか、寄与する物質のように思えます。20年ほど前から、前歯が外傷で抜けたときに、牛乳にしばらく浸漬してから、再移植するとよく定着するということが歯科関係で言われていましたが、どうもそんなものよりも、もっと深い意味があつて、生体の治癒過程に相当に寄与していくようです。インプラントでもそのことを考慮にしておくとういのではないかと思えます。そこへ低濃度のF（1ppmから10ppmほど）共存させるとどうでしょうか。

●本日マゲロのミニチュアの玩具が送られてきました。鳥羽の水族館でのお土産のお買い物だと思います。私が30年来夢を追いつけている大物のカジキを釣りの事を思い出してのお買い物だと思います。先生はその夢を叶えることが出来なかったようですが、私に対して夢をゆだねると言うことと存じます。かくなるうえは何が何でも夢を叶えなければなりません。先生の分も頑張りますので応援して下さい。釣り上げた暁にはカジキを酒の肴にして杯を酌み交わしましょう……。

現役を退いた教授と指導者の研究のやり取り原文をそのまま許可を得て、投稿しました。恩師との関係はこの様な会話が大切で、いつまでも元気で話したいものです。すなわち研究に歳は関係ないように思います。

皆さんも人生の師を持つ意義は大きいので、師を求めて下さい。

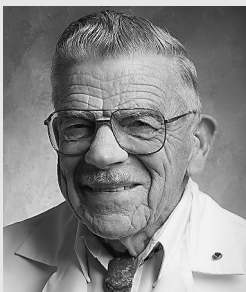
国際関係 News

ICOI の中に IDREF と言う研究情勢のファンドがある。過去にも事がある度に個人的な寄付を続けてきたが、昨年 ICOI 会長職の任期満了を機会に、今回個人的に2,500ドル程度を寄付した。寄付は額によって違いがあるが、Diamond Level、Platinum Level、Gold Level、Silver Level がある。毎回増額されているようである。日本においても、基礎研究を行っている大学に寄付をお願いしたが、残念ながら頂いていない。個人や企業の浄財であるとはいえ、適切な効果的研究に有効利用が望まれる。

寄付といえば、研究には資用がかかる。これまで私共は文部科学省の科研費、医療功労賞、文化功労賞等にエントリを続けてきた。また、医療に興味がある外資系のファンドにも申し出た。製薬会社も行って来たが牙城を崩せない。（H.O.）

訃報のお知らせ

骨再生の楚的研究第一人者の Dr Philip Boyne が亡くなりました。昨年 ICOI 米国大会で一緒に講演したのが最後でした。思い出すのは、ロバート・ジェームスとサイナスリフトを定義づけをし、世界的に普及させた功労者です。昨年研修を受けた先生方、共に冥福を祈りましょう。



Dr.philp Boyne

トータルエステ

美容歯科分野のスクールについてパラメディカルスタッフの教育はどうしたら良いのか、というお声を頂いております。そこでコラボレーションをしている国際美容外科学会名誉会長の周先生やエステの第一人者等の協力を頂きながらトータルエステスクールを開講致します。口腔領域は MIDFACIAL と LWFACIAL として顔の重要位置にあり、美容外科学会にも認識して頂いております。

講義内容は、各外科的な処置はもちろんの事、スキンケアや表情筋トレーニング、口腔ケア、唾液線刺激、リンパマッサージ、周囲組織刺激療法、全身ケアのボディメイクの筋トレなどを多彩に講義と実技のカリキュラムとなっております。もうすでにインプラントのイージーケースは終わり、その付帯効果によって新たな領域拡大を求めて医院の繁栄とスキルアップにと理解して頂ければ幸いです。このコースは東京形成歯科研究会の後援で行われます。

トータルエステ トレーニングスクール

オクデラメディカル
インスティテュート

アンチエイジング時代に対応する
7月開講
トータルエステテクニシャンの短期養成機関

各専門分野が美容の総合教育で高度な専門知識が身につき、自分自身のアンチエイジング磨きやスキルアップと医院の業務拡大、および専門職に就く転職の最短距離
《半年コース:毎週木曜日6時30分から9時30分まで》

国際的活躍の有名講師



● 国際美容外科学会名誉会長
医学博士
周 哲男



● 前国際インプラント学会会長
● 国際歯科美容外科アカデミー代表
● 王子歯科美容外科クリニック総院長
医学博士
奥寺 元

● 神奈川歯科大学人体構造分野解剖学教授
歯学博士
高橋 常男

● 東京ボディビル連盟理事
ボディメイクアドバイザー
近藤 一隆

● エステ講師
美顔美容・表情筋トレーニング
富田 かつ子 / 佐野 真充

アンチエイジングの時代に突入して、感性のある人生をいつまでも若く慈いのある日々を送る事が求められています。メタボリックや老け顔では精神的にも影響を及ぼし障害がでます。ここ一度各方面担当者は領域拡大からも新しい理論を身に蓄けて、その目的に進出して頂きたいコースです。対象は各種健康に携わる関係者で波及効果を求める立場や個人で自分自身のスキルアップを求める立場の方を対象にしており、各種今までにない講義と実技の内容です。

トータルコース講義と実技内容

- 美容外科診療・基礎と臨床・栄養およびケア・ピーリング・美容外科診療助
- 人体構造の基礎と臨床解剖
- 美顔美容・基礎と実際・表情筋の解剖とトレーニング
- ボディメイクの基礎と栄養学・筋力トレーニングの実技・ヨガ
- 歯科美容外科診療実技と臨床・ホワイトニングからブラッシングの実際と介助
- ローフェイスコントロール手術手技と口腔ケア
- 自然体験とリラクゼーション

※コース修了者には医院導入のアドバイスや各分野の就職の斡旋も可能です。また、その上の専門コース(インターン)に進むことも可能です。

入学金:6万円 教材費設備費:35,000円 受講料:半年 12万円

お問い合わせ 及び 会場: 王子エステ&GYM内 オクデラメディカルインスティテュート
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 TEL: 03-3912-9275
URL: <http://www.ojibeauty.com/> FAX: 03-3919-5114

Dr.Marxに会いに行こう!!

注目を集めているDVDです。参考にして下さい。

MIAMI-TORONTO BONE SYMPOSIUM

OCTOBER 30, 2008 -THRU- NOVEMBER 5, 2008
Disney's Contemporary Resort, Lake buena Vista, Florida

Dr. Robert E. Marx

Dr. Arun K. Garg

Dr. Robert E. Marx, Dr. Arun K. Gargとの友好的な縁で私共は口腔領域の顎骨再生について先駆的な情報を頂き、日々臨床に効果をあげております。その両氏が今回も主要な研究者、臨床家を集めて、Bone Symposiumが開催されます。私共インプラントを含む臨床で最も重要なテーマと考えております。Dr. Robert E. Marxは全米でも有名でCNNでも報道され、再生学治療の第一人者です。共に交友を深めましょう。

奥寺 元

旅行参加募集

【旅行日程】2008年10月30日～11月5日
【場 所】フロリダ
ディズニー・コンテンポラリーリゾートホテル

【お問い合わせ】**オクデラメディカル インスティテュート**
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 TEL:03-3912-9275
URL: <http://www.oji-shika.jp/pc/> FAX:03-3919-5114

Miami-Toronto Bone Symposium 申込書

お名前	所属	紹介者
〒		TEL
住 所		FAX

The American Academy of Periodontology 93rd Annual Meeting-2007

第93回アメリカ歯周病学会年次総会 日本語吹替版(音声多言語:日本語/英語)

2007年AAPシリーズ続々登場
今、話題のテーマはこれだ!!

The Oral Bisphosphonate Patient: Assessment of Risk, Prevention and Management

ビスフォスフォネート製剤服用患者への対応

●監訳: 仲谷 寛(日本歯科大学附属病院 教授) / 大澤 銀子(日本歯科大学附属病院 講師)

世界の第一人者Dr.Marxに学ぶ、ビスフォスフォネート最新情報!

このシリーズでは2007年ワシントンDCで行われた第93回AAP年次総会での講演の中から特に注目を集めた内容について紹介しています。今回のテーマは「経口ビスフォスフォネート製剤服用患者のリスク評価、予防および対処」で、この分野の第一人者Dr.ロバート・マークスがビスフォスフォネート製剤誘発の骨壊死のメカニズム、正確な言葉の定義、CTXテスト、さらに予防策の検討などについて講演を行っています。

DVD No.DE38-S
全1枚
12,600円
税込・送料別

No.DE38-S (93分)

講演者:
Robert E. Marx, DDS ロバート・マークス
マイアミ大学ミラー・スクール医学部のリサーチ・ディレクターであり、口腔外科の主任教授。ビスフォスフォネートの他、多血小板血漿、PRPの分野の研究でも有名。

■ビスフォスフォネートが誘発する骨壊死のメカニズム

- ・ビスフォスフォネート製剤で誘発された顎骨壊死と、放射線治療が原因で生じた骨壊死について
- ・骨のリモデリング
- ・ビスフォスフォネート製剤の静脈注射と経口投与の違い
- ・使用されている7つのビスフォスフォネート製剤
- ・ビスフォスフォネート製剤が破骨細胞にどう作用するか
- ・骨減少症と骨粗鬆症の基本的知識
- ・経口ビスフォスフォネート製剤で誘発された顎骨壊死実際の発症プロセス

■用語の正確な定義

■CTX検査を紹介

比較的分かりやすい血液検査で、どの程度の骨吸収が抑制されているかの指標、つまりリスクが分かる

■予防のメカニズムについての検証と治療

■推薦の言葉: 医学博士 奥寺 元
日本PRP臨床研究会代表
前国際インプラント学会会長

Dr. Robert E. MARXは米国において顎顔面外科再生の第一人者である。先日CNNにも出演していて、彼のジャクソン病院は有名である。また、私が紹介したPRPも彼の開発したものである。今回のDVDの内容は、骨代謝マーカー-NTXやCTXを用いてビスフォスフォネート服用患者の骨壊死の問題において踏み込んだもので、これから起こりえるインプラント外科において予防的にも重要情報である。

第38回 (社)日本口腔インプラント学会学術大会 ランチョンセミナー

推薦の言葉
インプラント臨床は過去の臨床経験から学ぶことが大切で、私と共に歩んだDR小嶋やDR星野の一環した臨床理念は日本の将来のインプラント臨床に福音を与える。

会場:東京国際フォーラム
日程:2008年9月13日(土)
講演:無料

「インプラント臨床35年温故知新から得たものは」
「温故知新型のインプラントハンドオン」

日本におけるインプラント臨床の第一人者が長い臨床経験の極めつけを語る。そして数々登場するインプラントデザインを改良し、翻弄される企業誘導型のインプラント臨床に警笛を鳴らし、温故知新型も駆使してあらゆる臨床に答えべき理念を継承する。

小嶋 榮一 先生
日本におけるインプラント臨床先駆者

星野 清興 先生
実力者 数々の先駆者 実績大

Dr.W.NORDQUIST
Custom Endosteal Implant
考案者

奥寺 元 先生
前国際インプラント学会会長
あらゆるインプラントを追求

協賛/(社)日本口腔インプラント学会認定施設東京形成歯科研究会

【お問い合わせ】
オクデラメディカル オクデラインスティテュート
〒114-0002 東京都北区王子2-26-2
URL: <http://www.oji-shika.jp/pc/>
TEL:03-3912-9275
FAX:03-3919-5114

第38回 日本口腔インプラント学会学術大会 ランチョンセミナー 申込書

お名前	所属	紹介者
〒		TEL
住 所		FAX

Implant Fiesta

The First International Dental Implant
Conference in Taiwan 2008

From **A** to **A**⁺

July 25,26,27(Fri,Sat,Sun)

1st INTERNATIONAL DENTAL IMPLANT
CONFERENCE in TAIWAN 2008

<http://www.twimplant.org>

Email:judy@twimplant.org

Tel: +886-2-2307-6829

Fax: +886-2-2307-6986

アジアの台湾も頑張っています!!

NEWS では原稿を募集中! 何でも結構です。